

播磨ノ風俗智惠有テ義理ヲ不知親ハ子ヲタバカリ子ハ親ヲダシヌキ主ハ被官ニ領地ヲ鮮ク與ヘテ好ヲ人キ掘出シ度ト志シ亦被官ト成ル人ハ主ニ奉公ヲ勤ル事ヲ第二ニ而調儀ヲ以所知ヲ取ラント思ヒ悉皆盜賊ノ振舞也侍ハ中々不好不及是非也若キ侍ノ風上ニモ可置國風ニアラズ偏ニ是國ハ上古ヨリ如此ノ風俗終ニ暫クモ善ニ定ル事ナシ

〔日本鹿子十二〕同國播磨中名所之部

垂水 須磨と大倉谷との中道也明石のうち也うたにたるみの上のさわらびとよめるは此所のことなりと云り

明石浦 ほのくゝとあかしのうらと詠せし此浦也大倉谷より十町ばかり西に松一村立て、丸の塚今にあり略中

印南野 大倉谷より人丸塚を西に見てくだればかにが坂といふ所を過て清水の里野口など

いふ所有印南郡のうち也略中
野中の清水 印南の在所の前に有之此清水の流海へ通ふ也細き流也海道より此川を渡て行也十町ばかり北野中に池有それを清水といふ也印南の北は美作也山本はるかに見えたる也

藤江の浦ひかさの浦など云は明石にもちかし、薦の細江といふ所もあり略中

飾磨里 印南野より西也略中 中 ちかまのかちと詠せしは褐色染のこと也此所の名物也

室津 かく川といふ宿の未申のかた也

高砂略中

青山 かく川の宿より西なり海道也宿有

夢前川 書寫山より南のかた也北より南へ流たる川也

戀の濱 戀の松原とも云也當國と備前の堺也